

当院救急外来における DSED (Double Sequential External Defibrillation)に関する研究

1. 研究の対象

2024年2月1日～2025年1月31日に当院の救命救急センターに心肺停止状態で搬送された方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、救急外来における難治性心室細動に対する Double Sequential External Defibrillation (DSED) の有効性を検討し、新たな除細動戦略としての有用性を評価することです。

難治性心室細動は、複数回の電氣的除細動に反応しない、極めて予後不良な心停止の一病態です。先行研究では、早期の除細動施行や補助循環装置（例：VA-ECMO）を併用した高度な心肺蘇生（ECPR）が、一部の症例において自己心拍再開および神経学的転帰の改善に寄与する可能性が示唆されています。

しかしながら、ECPRは多大な費用と労力を要し、その適応症例は制限されています。一方、DSEDは比較的簡便かつ迅速に実施可能な手技であり、従来であればECPR導入が検討されていたような症例に対しても、早期に有効な除細動が行える可能性があります。

本研究では、救急外来においてDSEDが実施された症例を後方視的に分析し、除細動に対する反応、自己心拍再開、神経学的転帰を指標にDSEDの有効性と臨床的意義を評価します。これにより、DSEDが難治性心室細動に対する治療の選択肢を拡げ、効果的な治療戦略となり得るかを明らかにすることを目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：蘇生記録表、入院後経過、退院時の神経学的転帰、副作用等の発生状況、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川崎市立川崎病院 救急科 救命救急センター 橋本 拓人 044-233-5521（内線56868）

研究責任者：

川崎市立川崎病院 救急科 救命救急センター 橋本 拓人

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1 電話：044-233-5521（内線56868）

-----以上